

市庁舎整備に係る 埋蔵文化財(試掘)調査 (トレンチ②調査結果)

埋め立てられる
前の、古い時代
の薬研堀の肩の
想定ライン



① 第1面
古い時代の薬研堀

② 第2面
江戸時代に埋め立てた範囲

第3面
明治以降の
建物の基礎

江戸時代～近代の薬研堀

●試掘調査(トレンチ②)の概要
<目的>
薬研堀がどの程度の広がりであったかを確認し、本調査が必要な範囲を決定する。

<調査期間>
平成24年7月12日～8月8日

<調査結果>
3時期の遺構面を検出した。

第1面 薬研堀の遺構面
第2面 薬研堀を埋め立てた時の護岸石積など、江戸時代の遺構面
第3面 明治以降の造成と思われる遺構面

<本調査について>
・整備が想定される範囲のうち、「薬研堀及び隣接地の範囲(別紙参照)」に限定して調査する。
・薬研堀は市役所前の通路に並行すると考えていたが、試掘調査の結果、北側に行くに従い、西側に広がっていくことが想定される。

<トレンチ③の調査時期について>
当初:トレンチ②終了直後に着手
変更:しゃんしゃんウィークを避け、8月17日に着手

<トレンチ③の掘削位置について>
薬研堀の位置にあわせ、掘削位置を第2庁舎側に変更

②の埋め立て後の薬研堀の肩